

# 本吉エリア 気仙沼・

気仙沼市／南三陸町

気仙沼・本吉エリアは県北東部に位置し、気仙沼市、南三陸町からなる1市1町です。気仙沼市では、津波で全壊し仮設営業を続けてきた「道の駅大谷海岸」が令和3年3月にグランドオープンしました。施設内には地元の新鮮な魚介類や野菜などが並ぶ産地直売所や海が見渡せる展望デッキなどが併設され、気仙沼観光の南の玄関口として多くの人々が訪れています。また、同3月には「気仙沼湾横断橋」を含む「気仙沼IC～唐桑半島IC」が開通し、県内で「復興道路」として整備が進められていた三陸沿岸道路の全区間がつながりました。

これにより仙台市から岩手県宮古市までが高速道路で直結し、移動時間の短縮による物流の効率化や交流圏の拡大、救急医療体制の強化が期待されています。



## 気仙沼・本吉エリア

### 被害状況

	地域合計	県内合計
死者	1,838人	10,568人
行方不明者	425人	1,215人
全壊	11,626棟	83,005棟
半壊	2,749棟	155,130棟

令和3年10月31日現在

### 災害公営住宅整備状況

	平成31年3月末
計画戸数	2,825戸
完了戸数	2,825戸

### 応急仮設住宅入居者数

	平成24年4月	令和2年12月
プレハブ住宅	14,085人	0人
民間賃貸借上住宅	4,944人	0人
計	19,029人	0人

令和2年12月31日現在



## 気仙沼・本吉エリアの定点観測

### 気仙沼市魚町地区

フェリーターミナルがあった気仙沼内湾地域は津波により大きな被害を受けました。現在は防潮堤が完成し、商業観光施設もオープンしています。



### 気仙沼市鹿折地区

津波により多くの建物が流失しましたが、かさ上げされた周辺地域には住宅や飲食店などが建設され賑わいが戻りつつあります。



### 南三陸町歌津伊里前地区

津波により橋の一部が流出するなど甚大な被害を受けましたが、新橋の整備やかさ上げなどの工事により防波堤と一体となった道路が完成しました。



### 南三陸町志津川地区

中心市街地の広範囲に津波が押し寄せ、大きな被害を受けました。令和4年には地域と人をつなぐ施設として震災伝承館「南三陸311メモリアル」の開館が予定されています。



写真提供: 3.11 オモイデアーカイブ